



神小だより

ホームページ <http://kamiyama.es.agaiwv.co.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 4月号

保護者・地域版

H28. 4. 13

「子どもたち、保護者、地域の皆様が元気になる学校」を目指して

校長 鈴木 正彦

笑顔あふれる新1年生16名を迎え、全校児童104名、教職員18名で神山小学校の平成28年度がスタートいたしました。

心身共に一段とたくましく成長し、新しい学年に進級した子どもたち。一人一人の笑顔あふれる表情からは、進級した喜びと「運動や勉強に頑張ろう」という意気込みが感じられました。

先日は、新1年生16名を迎えての入学式が行われました。新1年生のみなさん、ご入学、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。たくさんのお兄さんお姉さん、先生、地域の方々に囲まれ、とても緊張したことでしょう。しかし、名前を呼ばれて元気に返事をする姿やお祝いの言葉などを姿勢よく聞く姿に、感心しました。もう、立派な神山小学校の一員です。

さて、平成28年度の教育活動のスタートに当たり、「子どもや保護者、地域の皆様が元気になる学校」を学校経営方針の中核に据え、充実した教育活動を展開したいと考えています。

神山小学校の教育目標は3つです。

- ・「よく考え 力いっぱい励む子ども」(知育)
- ・「明るく 思いやりのある子ども」(徳育)
- ・「進んで 自分をきたえる子ども」(体育)です。

自分のもてる力を最大限に発揮し、また、思いやりの心をもって、学習や運動(健康な体づくり)に、進んで取り組もうとする子どもたちを育てていきます。このような子どもたちの通う神山小学校は、子どもたちが生き生きと学校生活を送り、一人一人の笑顔の花が咲く、まさに「子どもたちが元気になる学校」です。「子どもたちの元気」は、保護者、地域の方々の元気の源です。

そのために神山小学校では、年間を通して最も基本的な2つのルールを、特に守るよう心がけています。1つ目は、「相手が話しているときは、口を閉じて最後まで静かに聞く。」ということです。相手の話をしっかり聞くことは、相手を尊重することにつながります。先生やお友達の話をしっかり聞いて初めて、学校の様子や学習内容がよく分かり、また、自分の意見ももてるようになります。2つ目は、「相手が嫌がることや悲しい気持ちになることは、言わない、しない。」ということです。私たちは、多くの人々と協力し助け合って生きていかなければなりません。そのためには、相手の気持ちを傷つけないように生活していくことが大切です。

ところで、子どもの成長には、子どもたちを一番に理解され、最もよい支援をされている保護者、地域の皆様のお力が欠かせません。子どもたちの成長につながることであれば、遠慮なくご意見ご感想をお寄せください。ぜひ、お互い手に手を取り合って、神山小学校の子どもたちを育てていきたいと思っております。

「Team 神山 すべての職員で、神山小学校の子どもを育てる、元気にする！」という強い思いで、全職員一丸となって、神山小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様の笑顔のために頑張っています。

どうぞ、神山小学校の教育に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



始業式の様子